

# ロールフィーダーメリット計算書

H21.1.1

A社 枚葉印刷機のみ	
ロールフィーダー採用年月日	平成19年12月
ロールフィーダー本格稼働	平成20年3月
平成20年9月迄実績	約20,000,000カット(本紙枚数)
取り付け機種	LITHRONES40SP

25,000連紙使用 57.5kg/連の総重量 1,437,500kg  
 巻き取りロール紙と枚葉紙との価格差10円～30円/kgあり、仮に10円として  
 10ヶ月のメリットを計算しますと  $1,437,500 \times 10 = 14,375,000$ 円となります。  
 これに加えロールフィーダーでは、印刷面積に合わせた適正なカット長設定による  
 紙の節約が可能となつて、20,000,000円以上の紙代が利益となって出て来ております。

ここでオフ輪の小ロット印刷及び枚葉片面機の印刷を、枚葉両面機に置き換えた場合、

オフ輪で小ロット物を印刷する場合と、両面機で小ロットを印刷する場合の比較

	損紙	利益
オフ輪の 小ロット	1000～2000枚	$1500 - 300 = 1200$ 枚
両面機の 小ロット	200～400枚	1日5版とすると $1200 \times 5 = 6,000$ 枚

片面機で印刷する場合と、両面機で印刷する場合の比較

	損紙	利益
片面機の 場合	200～400枚 × 2 (両面印刷)	$600 - 300 = 300$ 枚
両面機の 場合	200～400枚	1日20版とすると $300 \times 20 = 6,000$ 枚

オフ輪→枚葉両面機/枚葉片面機→枚葉両面機の年間損紙の合算金額差は  
 $6,000 + 6,000$ 枚/1日  
 $12,000$ 枚 × 25日(月稼働平均日) × 12月 =  $3,600,000$ 枚  
 $3,600$ 連 × 57.5kg(平均紙斤量) =  $207,000$ kg  
 $207,000$ kg × 100円(単価平均) =  $20,700,000$ 円となります。

この枚葉両面機に、さらにロールフィーダーを設備した場合  
 上記A社の利益分がプラスとなりますので、年間紙代の節約は約40,000,000円以上  
 となります。

ロールフィーダーは紙積みの様な重労働も少なく、社員のモチベーションのアップ  
 にも繋がり、強力な武器になると確信しております。

又、固定費も当然の事ながら1～2人分は削減することができます。

ハイニックス株式会社

# ロールフィーダーメリット計算書

H21.1.1

A社

ロールフィーダー採用年月日	平成19年12月
ロールフィーダー本格稼働	平成20年3月
平成20年9月迄実績	約16,000,000カット
取り付け機種	LITHRONES40SP

16,000連紙使用 57.5kg/連の総重量 20,000kg  
巻き取りロール紙と枚葉紙との価格差10円～30円/kgあり20円として計算しますと、  
6ヶ月のメリット  $20,000 \times 20 = 1,400,000$ 円  
1ヶ年のメリット  $1,400,000 \times 2 = 36,000,000$ 円  
これに加えロールフィーダーでは印刷面積に合わせた適正なカット長設定により紙の節約が可能となり、トータル40,000,000円以上の利益となります。

# 白紙専用シーターのメリット計算書

B社

白紙専用シーター採用年月日	平成20年5月中旬
白紙専用シーター本格稼働	平成20年6月より
1ヶ月の実績	2,000,000～3,000,000カット
3,000連紙57.5kg/連の総重量	115,000～172,500kg

巻き取りロール紙と枚葉紙との価格差20円として計算しますと、  
 $115,000 \sim 172,500 \text{kg} \times 20 \text{円} \times 12 \text{ヶ月} = 27,600,000 \sim 41,400,000$ 円の価格差となり原価の大幅な節約ができます。※人件費1名分を差し引かなくてはなりません。

枚葉紙を積み揃える様な重労働技術も少なく、社員のモチベーションのアップに繋がります。強力的な武器になると確信しております。

ハイニックス株式会社